



世界の ミカタタイムズ



発行：学校から世界のミカタを考える会

いそいそ さいなみかた ム ワカエノク ムクモウナミカト オク ノロナカエノク。 - カモレモウ ケモレモカ

頭の中でモヤモヤするの、卒業しませんか？

ワークショップに参加してみたら全然面白くなくて大ハズレ！
あるいは、依頼されてワークショップを実施したもののコケちゃった！
参加者としてであれ、実施者としてであれ、何かとつきまとうモヤモヤ。
そして、しばらく引きずるモヤモヤ。それ、もうやめませんか？

ピンチはチャンス！モヤモヤもチャンス！

おそらくもっと上手くできるんじゃないかとどこかで考えているから
きっとモヤモヤしているんです。そのモヤモヤ、実はすごく前向きです。
そこに改善の余地があるならぜひ誰かを待つのではなく、自分でやってみませんか？



と言うコンセプトで、「**モヤモヤわーくしょっぷ**」と名付けて5月21日に実施しました。

腑に落ちていない中で実践するというのは正直、難しいところがありました。その代わりに、実践者としてのファシリテーションスキルのトレーニングにもなったと思います。そして何より実施後に参加者とともに「なぜ、何が原因でこのワークショップはモヤモヤするのか」「どうしたらよりよいワークショップとなるのか」を話し合い、試行錯誤したことで、モヤモヤがスッキリするとともに、よりよいワークを創ることができたのは大きな収穫でした。

当日のファシリテーターをしたのは団体の設立から関わってきていたものの、あまりワークショップの実施経験がなかった松本くん。出張先でワークショップを受けてモヤモヤしたという話を耳にしていたので今回の企画で実践をしてもらったのですが、実施後の感想として下線部のようにまとめています。

参加者としても「モヤモヤを解消する」という目的があり、ワークショップの内容についてだけでなく、頭の中でワークショップの内容を超えた部分（展開方法や落とし方、題材選びなど）も含めて考えながら受けないといけないという今まであまり体験したことのない取り組みになりました。

国立教育政策研究所の提案するESD（持続可能な開発のための教育）で身に付けたい力として、「批判的に考える力」、「コミュニケーションを行う力」、「他者と協力する態度」、「進んで参加する態度」などがあります。

改善の余地のある未完成なワークショップを実施し、終了後に協議をする「**モヤモヤわーくしょっぷ**」は、実施者のファシリテーションスキルトレーニングになるだけでなく、すべての参加者にとって学びがあり、上述のような力を身に付けるきっかけになるESD実践そのものになっていました。

試験的に行った「**モヤモヤわーくしょっぷ**」でしたが、想定していた以上の学びがあったので、今後はレギュラー企画にしようと思っています。モヤモヤするワークショップがある人は実施者として次は参加しませんか？

もちろん、やったことがない人が初めて実践をする場として活用していただくことも可能です。

ファシリテーションって何?(その5)
クローズドかオープンか。

前は聞き方について説明しましたが実践されましたか?

今回は、聞き方と対をなす技能として、話しやすい雰囲気を作るための効果的な質問の仕方についてです。

多くの人には釈迦に説法かとは思いますが、ここは入門の場ですので、復習と思って読んでいただければと思います。

質問にはクローズドな質問とオープンな質問があります。前者はYESかNOで答えられる質問、後者は答えに広がりがある質問です。そして、両者は生きる場面が違うのです。

【クローズドな質問が生きる場面】

初対面の時/口が重たい時/答えを絞り込む時/
発言のポイントを絞りたい時/確かめる時/決断を迫る時

【オープンな質問が生きる場面】

情報を引き出したい時/考えさせたい時/
膨らませたい時/視点を変えたい時/話を具体的にしたい時

口が重たい時に例えば「〇〇についてどう思いますか?」などと質問をされても答えにくいですね。だから、「今日は朝ごはんを食べましたか」「天気がいいですね」などといったクローズドな質問で会場をあたたためてから徐々にオープンな質問に移行していくと会場が話しやすい雰囲気に包まれていくのが実感できます。

このことを意識してテレビなどで名司会者と言われる人の進行をみていると、クローズドな質問とオープンな質問を効果的に使っているのがわかって面白いですよ。

今回はファシリテーションの場でしばしば起こる険悪な雰囲気を変えるための小ネタについて掲載する予定です。

悪に善をもて応じる人



今月の写真

みたことありますよね?



写真ではなく、絵ですが質問です。
この人は何を叫んでいるでしょう?
美術の先生が授業で使うネタだそうです。
正解はホームページでどうぞ。
非常に考えさせられました。

今回は子育て中のママに耳より情報です。
世界の子育てに密着したドキュメンタリー映画「いのちのはじまり：子育てが未来をつくる」が6月24日より公開されています。

ブラジル出身の女性監督エステラ監修のもと、世界9か国の子育て事情にせまります。

文化、社会的背景が変われば、子育ての方法、習慣、悩みも色々。同性婚カップルの子育て、専業主夫の子育て、養子縁組による子育て、仕事と子育ての両立に悩む親など様々な事例をとりあげています。

この映画を通して、親子の関わり方を見つめなおしてみませんか。今のところ九州では、大分県での上映が決定しており、福岡での上映は未定。自主上映も受け付けているそうです。

